



▲庭木の周りを「コッコ庵」の住人（鶏）たちが遊ぶ。

間伐ボランティア活動を行っているNPO法人「朝霧森林倶楽部」の事務局を預かる湯浅さん。朝霧森林倶楽部は、平成16年に湯浅さんを含む4名ほどの有志で発足し、平成27年にNPO法人となり、ますます精力的に活動を続けておられます！

今月の 人オキッリ

三つの「き」で暮らしています!!

ご出身は福岡県。「農家の息子として育ったことが、いつか田舎に住むことになるきっかけになったような気はします」とご本人。高知大学への進学を機に高知県在住となりました。県の職員だった湯浅さんは、須崎土木事務所窪川支所（現 四万十町事務所）に赴任されていた時代があつて、これが、窪川との縁の始まりともいえるそうです。また、この頃、湯浅さんは影野にある禅寺で「禅を組むこと」に勤しむようになります。

平成18年3月に退職した湯浅さんは、以前から決意していた1年間の禅寺での修行を前に、なんと、四国八十八箇所・歩き遍路に挑戦。「禅寺での修行を考えれば、そのくらいのことをやってみないと！」という思いだったのだそうです。「自分だめし」の意味もあったといいます。そして、とうとう歩き遍路を完歩。念願の信

州・長野市にある禅寺での修行に入ったのです。

平成19年6月、1年間の修行を終えた湯浅さんは、窪川に「戻り」ました。というのも、かなり前から窪川に住むことを決めていて、すでに現在の地に家を建ててあったのです。驚くことに、ご自宅のある敷地は、そのほとんどを湯浅さん自身が重機を操って整備したのだそうです。ご本人曰く「県庁勤務の時代から、将来は広い土地で庭木を育てながら暮らしたいと思っていましたから」

さらに「少しはお金が入ってくるようなこともしくは！」と考えた湯浅さんは、木の器づくりなどの木工にチャレンジすることに。大分県・湯布院で工房を営む方が指南のために、わざわざ何度も足を運んでくれました。木の器づくりをやってみよ

ゆあさ ふみひこ
湯浅 文彦さん

うと思ったきっかけは、以前、屋久島に行った時に、屋久杉で作った「ぐい呑み」に心奪われた思い出があったこと。「食器なのに、木が持っている神秘的な生命力を感じた」といいます。湯浅さんが作る器は、ウレタン樹脂ではなく漆を使っています。この漆の技術も、実に3年間、週に1回、高松に勉強に通って身につけたというから、その熱意と行動力には脱帽！工房名は、木にお礼をするという意味で「木礼塾」。

湯浅さんには、モットーというか、

生活を支える三つの要素があるそう

です。それは「3K」ならぬ三つの「き」

Ⅱ禅の「気」・間伐などの山林の「木」・木の器の「木」なのだとか。なるほど、その通りの生活を送っていらっしゃる!!

▼準優勝した田野々スポーツ少年団



四 万十町子ども会ソフトボール大会開催 四万十町からは3チームが参加

令和4年5月22日（日）、四万十町子ども会ソフトボール大会が窪川運動場多目的広場で開催されました。大会当日は非常に暑い日となりましたが一生懸命に汗を流し、集中したプレーを見せてくれました。四万十町からは3チームの参加で、田野々スポーツ少年団が決勝まで駒を進めましたが、惜しくも準優勝となりました。

結 果

優 勝 梶原ファイターズJSC
準優勝 田野々スポーツ少年団
第3位 仁淀ブルージュニア

決勝戦 スコア

チーム名	一	二	三	四	五	合計
田野々スポーツ少年団	0	0	0	1	0	1
梶原ファイターズJSC	1	1	2	0	×	4

▼女子入賞



▼男子入賞



第 13回四万十町硬式テニス大会開催 好天に恵まれテニスを楽しみました

令和4年5月22日（日）、四万十町窪川運動場テニスコートで第13回四万十町硬式テニス大会が開催されました。今年は県内各地から男子6ペア、女子3ペアが集まり開催出来ました。天気も良好で、みなさんテニスを楽しみ、無事大会を終えることができました。

男子の部

優 勝 中島・大川 ペア
準優勝 壬生・武内 ペア
第3位 坂出・田口 ペア

女子の部

優 勝 室谷・横山 ペア
準優勝 竹嶋・壬生 ペア
第3位 宮脇・伊藤 ペア

地 区防犯功労者表彰 1名が受賞 安全安心なまちづくりに貢献

町内で地域安全活動に取り組む、竹添文明さん（四万十町興津）がこのたび地域安全協議会より地区防犯功労者表彰を受賞されました。竹添文明さんは長年に渡り、特殊詐欺被害防止・鍵掛け・交通事故防止を呼びかけたり、興津保育所での誘拐被害防止教室に参加するなど多方面から地域安全活動に尽力されており、安全安心なまちづくりに大きく貢献されています。今回の受賞はそれらの功績が認められたものです。

▼竹添文明さん（写真中央）

